



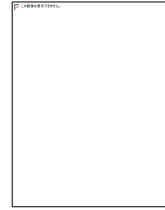
木津川市への提案

2025年2月10日

京都産業大学 法学部 山田ゼミ一同

目次

- 01 ライドシェア
- 02 グリーンスローモビリティの設置
- 03 南加茂台まるごとアスレチックジム
- 04 木津川まるごと古民家ホテル
- 05 ティ・レモンシティ構想
- 06 木津川バーチャル観光局
- 07 木津川ネイチャーパーク
- 08 ツール・ド木津川

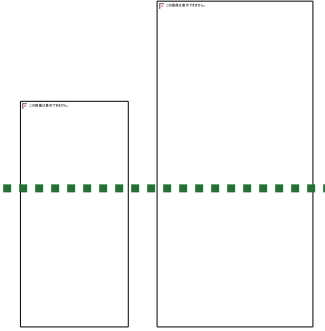


1 班

交通分野の課題に対する解決策



目次



1

問題提起

2

政策提案

3

ライドシェア (KizuRIDE) &
生活アプリ (KizuLIFE) の融合

4

新たな交通手段
“グリーンスローモビリティ”の提案

5

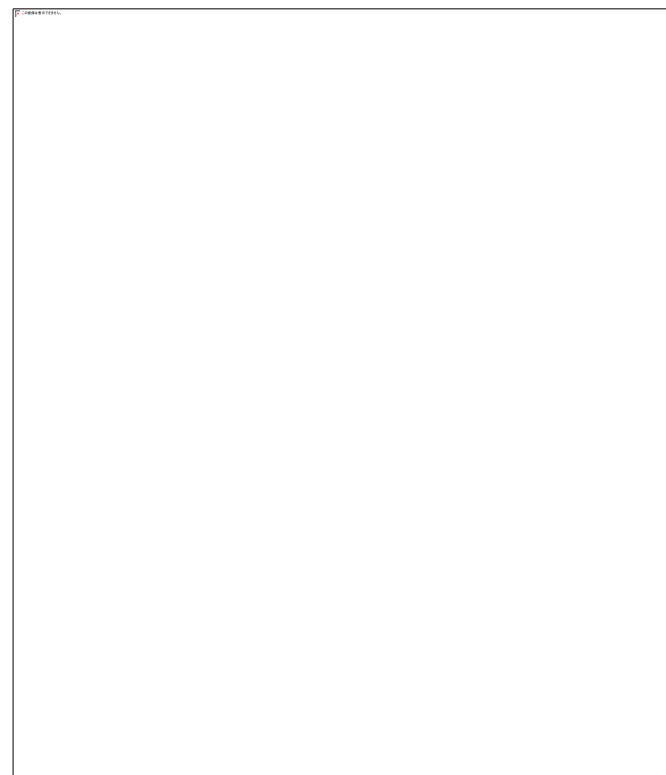
まとめ

Table of
Contents

問題提起

課題

- 交通手段の乏しさ
- 一部地域の孤立化
- 生活情報の点在



木津川市の公共交通の現状



【近鉄山田川駅方面】
・ 7時～9時、
16～17時の便が少ない
→ 学生にとって不便

【当尾線】
・ 1時間に1本しか便がない

・ 始発が遅い
一番早くても
7:49～

・ 最終の便が16時以降ない

一部地域と高齢者の孤立化

現状: 高齢者

山沿い、山間部に住宅地あり

- ・ 自動車を所持している家もあれば、ない家も見られてた
- ・ 山沿い、山間部の住人のほとんどが**高齢者**(木津川市役所職員さんいわく)
現在南加茂台の高齢化率は約55%



高齢者の方は免許を返納していることも考えられる
木津川市の住民自体が、高齢者の方が多い

生活情報の点在

多様な生活情報アプリ

現在の木津川市の生活情報の供給は多くされている。
(木津川市ごみ分別アプリ、きづかわいい、
ぴあっざ、きづがわPayなど)

しかし、点在していてどれを利用すればいいのか分からない



情報の一括化が必要
広く知ってもらう必要がある



政策提案

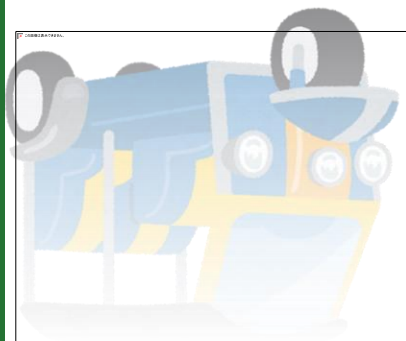
Copyright © 2024

Copyright © 2024

Copyright © 2024

1.ライドシェア(KizuRIDE) &
生活アプリ(KizuLIFE)の融合

2.新たな交通手段の提案





自治体・過疎地域 ライドシェア(KizuRIDE) & 生活アプリ(KizuLIFE)

～今ある自家用車と多様な生活アプリをDXにより最大限活用し、
総合的にし、移動と情報をより便利なものに～

ライドシェアとは

自動車の相乗りサービス

既存の「ちょこっとながも」の規模拡大

メリット

- ・路線バスと異なり、路線やダイヤがないため、運行台数や時間帯の柔軟な調節によって住民のニーズに応えることが可能
- ・他の公共交通機関より維持費がかからない



過疎地域と ライドシェア

マイカー、スクールバス、公用車などの
「使われていない時間がある車両」と、主
夫・主婦、元気な高齢者、学生などの「運
転できる時間がある人」をつなぐ

地方自治体などの支援のもとで運営される
「公共交通サービス」
メモ！（木津川市の自家用車所有率入れる）



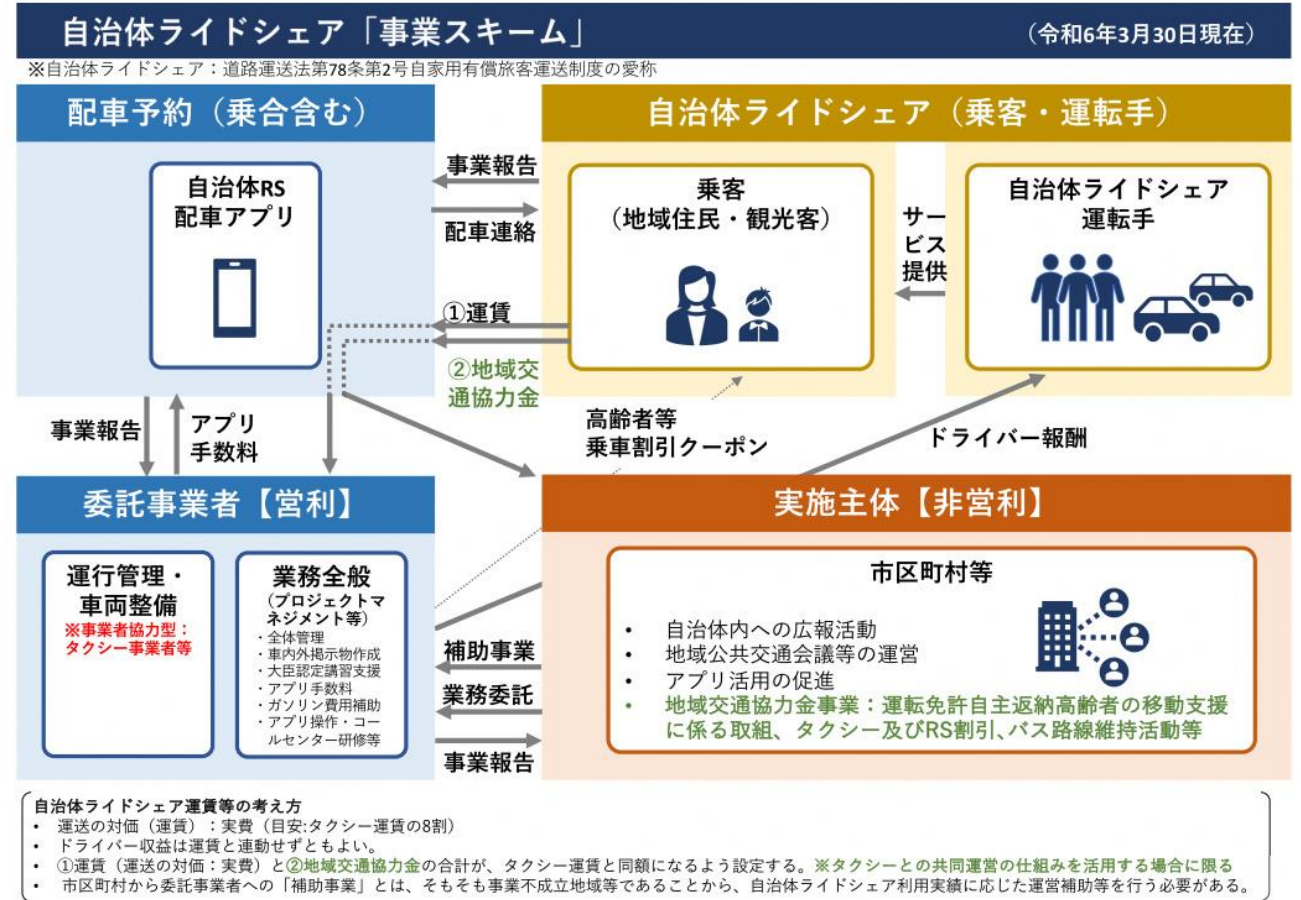
ライドシェア

自治体ライドシェア

K i z u R I D E

- ・「自家用有償旅客運送」を活用したライドシェア（自治体ライドシェア）の導入
- ・プラットフォームアプリや電話を通じて利用可能に
- ・木津川市が実施主体でサービスの詳細を決定

国土交通省『日本版ライドシェア、公共ライドシェアについて』参照



自治体ライドシェア先行事例



京都府舞鶴市

「高野地域協議会」が運行主体の自治体
ライドシェア

舞鶴市、オムロン ソーシアルソリュー
ションズ(株)、日本交通(株)の3者の協力
のもと、住民同士の送迎サービス
「meemo」を実施



石川県加賀市

Uberが加賀市と提供する観光地や交通空
白地における「自家用有償旅客運送」

ドライバーとユーザーのマッチング

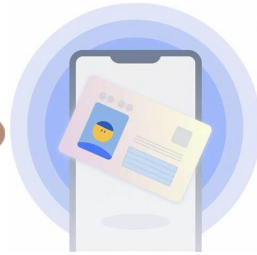
ライドシェアを安全に活用する手段として
多様なサービスとの融合新機軸

ライドシェアサービス導入とともに、マッチング
の際利用するプラットフォームを木津川市
独自となるように工夫

ドライバーとユーザーとのマッチングをより安全
にし、ライドシェアを中心にその他サービスにも
つなげる



ライドシェアと木津川市のプラットフォームアプリ



KizuLIFE

- ・ 身分証機能
- ・ 自治体独自のカードなどのデジタル化（図書カードなど）
- ・ ライドシェアサービスのプラットフォーム機能
- ・ 自治体独自のポイント付与サービス(木津川Payの活用)
- ・ 木津川市の掲示板機能(地域コミュニティ情報など)
- ・ 既存のアプリ「ピアッツァ」「きづがわいい」「木津川市ごみ分別アプリ」の活用

アプリ(KizuLIFE)の体系

身分証機能

マイナンバーを活用し基本4情報を登録
住所や氏名の変更や災害時などのあらゆる
場面で迅速な対応が可能

ライドシェア KizuRIDE

KizuLIFEのフォーム画面からライドシェア
の運転手と利用者のマッチングが可能

情報を集約

SNS、広報誌、公式ホームページなどの分散
した情報を一つにまとめることで知りたい
情報を迷わず見つけられる
既存の生活情報アプリの一括化

ポイントの付与

既存の『木津川Pay』活用し「地域イベント」
や「ウォーキングの歩数」などの活動をインセ
ンティブ化しポイント導入することで地域活性
化とアプリの登録率を高める

自治体アプリとライドシェア

デジタル身分証アプリ



宮城県

デジタル身分証アプリ（ポケットサイン）
アプリ内に搭載されたミニアプリにより災害時だけでなく様々なサービスを提供

ドイツ：ポケットビレッジ

各々スマートフォンでポケットビレッジに繋がることで、地域のイベント情報や自動車の相乗り調整等、その他多様な地域コミュニティの情報が手に入る




グリーンスローモビリティ

～観光地周辺の交通問題を解決する、小回りのきく利便性推進のための交通手段の提案～

新たな交通手段
グリーンスローモビリティ

LINE UP





グリーンスロー モビリティって？

1

Green...環境に優しい（電気を使う）

2

Slow...ゆったりとしたスピード

3

Safety...安全性が高い

4

Small...小型

5

Open...開放的

グリーンスローモビリティ

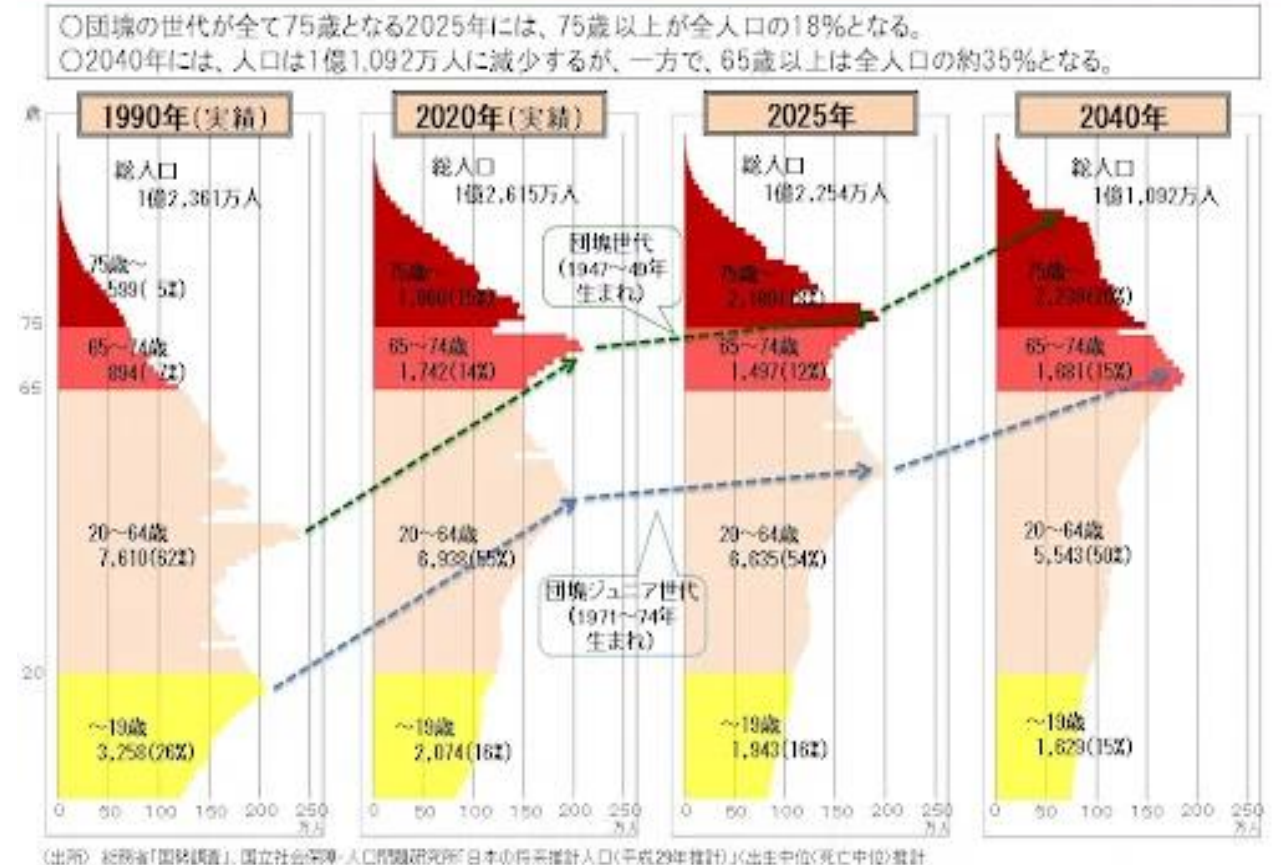
- ・ グリーンスローモビリティは...
- ・ 環境に配慮した低速・低環境負担の交通手段
- ・ 地域の人々が日常生活でゆっくりとした移動を楽しみながら、環境に優しい交通手段を利用することを推奨している

グリーンスローモビリティは、持続可能な交通手段として注目されており、環境保護だけでなく、地域経済の活性化や健康促進にも寄与するとされている

高齢化による需要

厚生労働省の予測によると、2040年には日本の全人口の35%が65歳以上になる。一人暮らし世帯や自動運転免許の非保有者を中心に外出数が低下すると考えられる。今後、足腰が悪くバス停や駅までの移動が難しい高齢者が増加することが想定されることから、新しい手軽な移動手段としてグリーンスローモビリティの需要が伸びる

日本の人口ピラミッドの変化



グリーンスローモビリティのメリット

1. 高齢者の外出

足腰の衰えや運転免許返納などにより、
買い物などの日常の外出にも困難を抱える
高齢者

2. 地域活性化

観光地や商店街などに導入することで、
観光客や住民の利用を促進

3. 小さな移動サービス

鉄道やバスといった従来の公共交通では
カバーできなかった、自宅からバス停ま
でというような「短距離」のきめ細かな
移動サービスを意味

4. 環境に配慮

電動車を活用 グリーンスローモビリティ
は全て電動車を活用することとしており
、環境に優しいエコなモビリティ

1、2

高齢者の外出、地域活性化

乗って楽しい

車両が小さかったり、座席が対面になっていたりというグリーンスローモビリティの車両特性が、人と人の距離を適切に保ち、コミュニケーションの促進につながりやすい

活動範囲の拡大

千葉県松戸市における実証調査においては、グリーンスローモビリティの導入により、地区内の傾斜が大きい場所に住んでいる住民の活動範囲が、導入前と比較し約1.5倍拡大したという結果も出ている。

地域防災、防犯

福祉面でのお出かけ支援や地域の賑わい創出、観光客の満足度向上、高齢者の見守り、地域防災・防犯のためのきずなの強化など、グリーンスローモビリティの導入による副次的な効果は多方面で期待される。





岡山県笠岡市事例

これまでコミュニティバスが通れなかったような道路、乗用車が通るとすれ違いで渋滞してしまうような道路などでも活用できる可能性



千葉県松戸市事例

側面のドアがない車両については乗降しやすいこともポイントです。天気の悪い日には、透明なシート（エンクロージャー）を下げることで雨、風、雪を避ける

③ 収支の事例

これまでにグリーンスローモビリティを導入した事例の中から、収支の実態について紹介します。ここで紹介する両事例とも、運賃収入だけでは事業が成り立ちませんので、行政からの補助や広告収入やサポーター制度等の運賃外収入等をうまく組み合わせる形で事業を進めています。

■A 市における自家用有償旅客運送による運営事例

収入	支出
<ul style="list-style-type: none">• 広告収入：約 70 万円/年• 協賛礼（団体）：約 60 万円/年• 協賛礼（個人）：約 3 万円/年• 募金収入：約 1 万円/年• 有償運行収入：約 1 万円/年	<ul style="list-style-type: none">• 借入返済（車両）：約 55 万円/年• ドライバー費用：約 20 万円/年• 位置情報システム等維持費：約 20 万円/年• 任意保険料：約 15 万円/年• 自動車税：約 5 万円/年• 諸経費：約 30 万円/年

※一体的に実施している他事業の収入分を加えることで事業全体は黒字

■B 市における自家用有償旅客運送による運営事例

収入	支出
<ul style="list-style-type: none">• 協賛金（広告収入含む）：約 100 万円/年• 有償運行収入：若干量 (初年度のみ、行政から助成金：約 90 万円/年)	<ul style="list-style-type: none">• 車両リース料：約 90 万/年• ポスターチラシ作成料：約 5 万円/年• 任意保険料：約 10 万円/年 ※その他、電気代等の諸経費、ドライバー費用等については上記に加えて発生

収入135万
支出145万
収支 - 10万

有償運行収入の見直しが必要

木津川では運賃の値上げを実施
それを差し引いてもタクシーを使用するより
安価

広告主を募集

四街道市事例

更新：2024年4月1日

持続可能な公共交通の構築のため、地域で公共交通を支えるとともに、事業者様の地域貢献活動や広告PRツールの一つ、グリーンスローモビリティに広告を掲載することによって、地域貢献によるイメージアップや企業の認知拡大



まとめ

ライドシェア(KizuRIDE) & 生活アプリ(KizuLIFE)

- ・ 自動車の相乗りサービスKizuRIDEを地方自治体の支援のもと運営
- ・ ライドシェアと生活情報を総合した木津川市独自のアプリKizuLIFEを利用

グリーンスローモビリティの設置

- ・ 他の交通機関と比較して運用面と実用面に優れる交通手段
- ・ 運賃については既存の交通手段との兼ね合いが必要

参考文献

木津川市の人口 令和6年1月（大字町丁別・年齢階層別）
[20240201-145826.xlsx](#)（閲覧日;令和6年12月）

木津川市の人口 令和6年1月(行政別)木津川市住民基本台帳登録等世帯・人口集計表
[20240201-145818.pdf](#)（閲覧日;令和6年12月）

過疎地域とライドシェア ©2023 PUBLIC Technologies, Inc. All rights reserved.
<https://www.public-technologies.com/local-rideshare>（閲覧日;令和6年10月）

動き始めた「日本型ライドシェア」と「自治体ライドシェア」令和6年4月19日
<https://project.nikkeibp.co.jp/atclppp/PPP/report/041600395/?P=2>（閲覧日;令和6年10月）

日本版ライドシェア、公共ライドシェア等について 関東運輸局 自動車交通部 旅客第二課
令和6年10月2日 <https://www.tb.mlit.go.jp/kanto/content/000334295.pdf>
閲覧日(令和6年11月)

参考文献

宮城県デジタル身分証アプリ 2024年12月6日

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jyoho/digital-id-app.html>（閲覧日;令和6年11月）

ドイツの地方創生DX成功事例 | デジタルビレッジの取り組み 2022.09.30

<https://dx-consultant.co.jp/overseas-german-regional-revitalization/>（閲覧日;令和6年11月）



2 班発表

- ①南加茂台まるごとアスレチックジム
- ②木津川まるごと古民家ホテル

南加茂台まるごとアスレチックジム構想とは

南加茂台を高齢化が進んでいても活気があり、魅力のある地域へ
みんなが健康意識を持ち、元気に長生きできる街にしたい。
街全体で健康を意識してもらうための提案

目的 高齢者の健康維持、地域交流の場をつくる

なぜ「まるごと」なのか

アスレチックジムを1つの場所に作っても、全員が簡単に行けるわけではないし、作る費用もかかる

→直線的な道路や坂を活用し、南加茂台全体をアスレチックジムに見立てる

高齢世代の寝たきり・予備軍の現状

37

- 高齢者の健康問題は、社会が直面する重要な課題の一つです。特に寝たきりやその予備軍となる人々の増加は、個人やその家族の生活の質だけでなく、医療負担の増加や介護問題など、社会的にも様々な影響を及ぼします。
- 内閣府の調査によると、2019年時点で65歳以上の人口は3589万人となっています。この割合をあてはめると、**約248万人**の高齢者が寝たきりとなっています。



寝たきりの原因の第1は脳血管疾患、第2は転倒等による骨折である。身体活動や運動は疾病を予防するだけでなく、運動機能を高め、転倒による骨折などにより寝たきりになることを防ぐ。寝たきりは「寝かせきり」から生じるものであり、適切なりハビリテーション、ケアによって予防できることも知られている。

詳細

- 公民館に受付をつくる
- 空き家や公園、道路を活用
- それぞれの空き家に高齢者向けのトレーニングマシンを設置
- 空き状況を見れたり、目標を設定できたりするアプリで、
目標達成や継続できている人には地域で使える商品券やクーポンを配布

→高齢者の方が医療機関にかかる際に使う国民健康保険は町村が運営しているもの。健康な人が増えることで財政に余裕ができる。

アプリの導入

- ・ 健康アプリアスリブ、健康マイレージなどを自治体、団体それぞれ作成が可能。
- ・ また、市民の健康管理が可能である。

アプリの効果「ふじえだ健康マイレージ」

静岡県藤枝市は「健康・予防日本一」を目指す取り組みの一環として、ふじえだ健康マイレージを推進している。

↓その結果

特定健診の受診率やがん検診受診率の向上、メタボ率の低下、後期高齢者医療費の削減など、顕著な成果を上げた。

「第1回 健康寿命をのばそう！アワード」で厚生労働省健康局長から優良賞を受賞した。

アプリの導入

ウォーキングアプリがほとんど

ジム使う人はどう使うの？



アプリ開発

<内容>

- ①近くのジムを調べることが出来る（Googleマップ搭載）
- ②混雑状況確認可能
- ③トレーニング記録（健康記録）を付ける事が出来る
- ④タイマー機能
- ⑤訪れたジムでQRコード読み取ってスタンプラリー
（例えば4つスタンプ集めると商品券1枚交換等）

アプリについて(参考文献)

- NTTデータ関西公式オウンドメディア(スライド5)

<https://search.app/hR9favrXDwzPbVp87>

(閲覧日2024/11/27)

- “健康・予防日本一”ふじえだプロジェクト(厚生労働省)(スライド5)

<https://www.mhlw.go.jp>

(閲覧日2024/11/27)

- 健康マイレージのアプリ説明(スライド7)

<https://kenko-mileage.jp>

(閲覧日2024/12/02)

空き家を活用

- 高齢者向けのトレーニングマシン
（例：ウォーキングマシンや足漕ぎペダルなど）
- バランスボールなどのエクササイズグッズ

個室空間で少人数で運動ができる

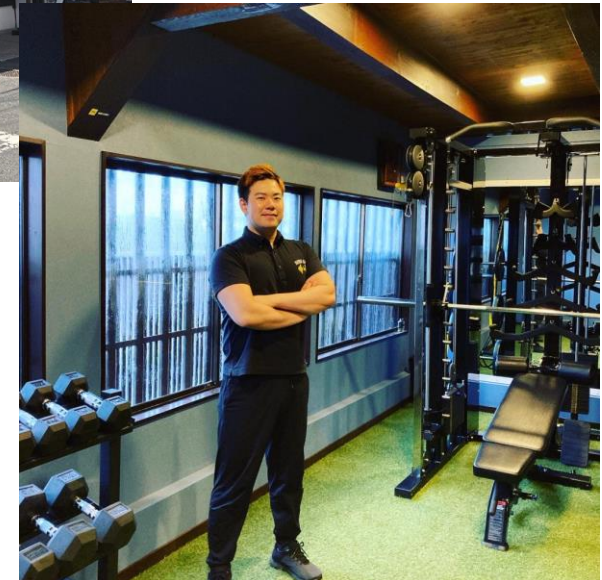
空き家（古民家）でジムを作った例

Nima Gym（岡山県高梁市）

古民家をパーソナルジムとしてオープン。

「全年齢対応型パーソナルジム」を目指し、学生・社会人を問わず通われている。

古民家をジムにできた例として参考に

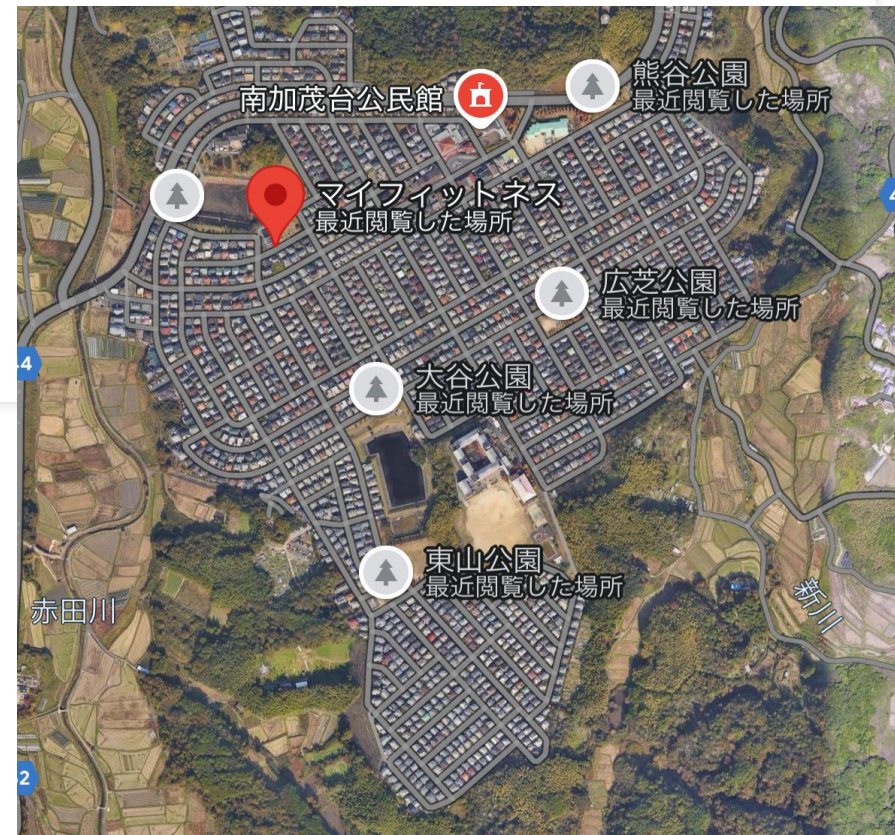


公園を活用

子供用の遊び場⇒高齢者の健康施設

(今ある公園を改装する方向で計画)

- 腹筋や懸垂用の鉄棒などを設置
- ヨガや体操も
- 南加茂台6丁目にある「マイフィットネス」を参考に



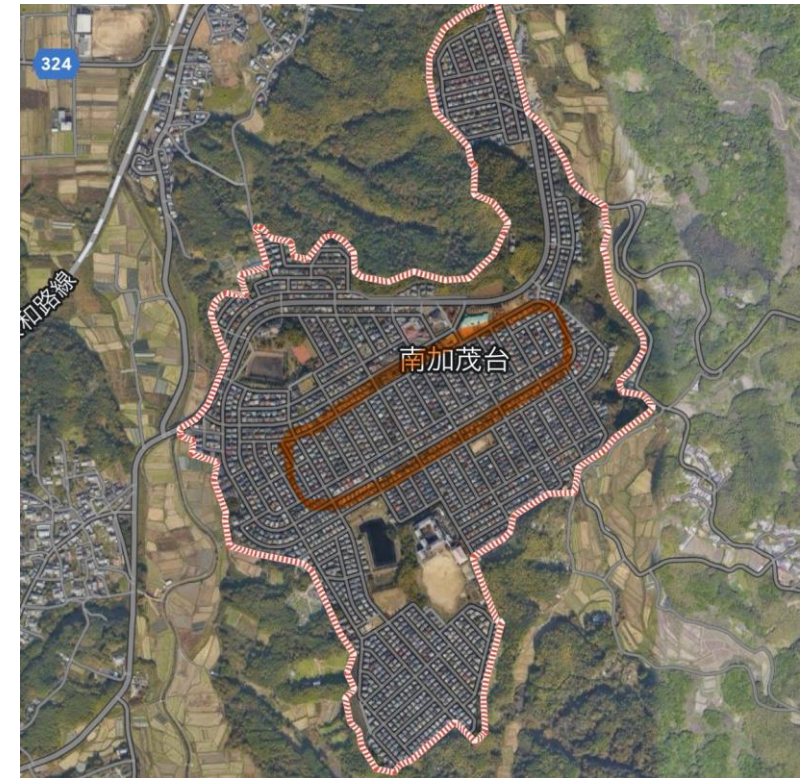
マイフィットネスについて

- 南加茂台6丁目の保育園跡地
- 幼稚園児～小学生向けのアスレチック
- 種類は8種類ほど、使い方は看板の裏に記載
(腕立て伏せや平均台など)
- ロコミに「活用したい」
「子供向けだから小さいのが残念」との声



南加茂台の土地を活用

- 直線的な道路、坂が多い
 - ⇒ 歩道を活かしたランニングコース、
ウォーキングコース（**周遊コースを作成**）
- 電柱などで走ったり歩いたりした距離を可視化できるように（何m地点など）
例：スタート地点は公民館など



メリット

- 健康維持ができ、健康寿命がのびる
- 足腰が鍛えられるため、怪我の防止につながる
- コミュニティが増えることで、地域交流ができる
- 空き家を活用できるため、防犯対策にもつながる
- 屋内のため、一年中利用できる

デメリット

- 利用者がいなければ、空き家のままになる
- スタッフを置く場合⇒人件費がかかる
- スタッフを置かない場合
 - ⇒正しい使い方が分からず、怪我につながる可能性がある

公益性

- 利用さえしてもらえれば、地域活性化につながる
- スタッフを置く場合、正しい使い方安心して利用できる
- 地元雇用で雇用の創出ができる
- 怪我などによる医療費の削減もできる

参考文献

- Nima Gym

<https://nimagym0809.wixsite.com/website> (2024.10.29)

<https://takahashi-flat.sakura.ne.jp/%e5%8f%a4%e6%b0%91%e5%ae%b6%e3%83%91%e3%83%bc%e3%82%bd%e3%83%8a%e3%83%ab%e3%82%b8%e3%83%a0open/> (2024.10.29)

木津川まるごと古民家ホテル

- 木津川は、全国でも珍しい国宝を有する地区であり、観光資源に恵まれてる。しかし、ホテルの数が少ないため、宿泊施設の需要が高まっている。この需要を満たすために、新たな宿泊施設の開発が求められる。
- また、地域の特色や魅力を伝えるために、地元のお店を紹介するお土産の提供が効果的だと考える。これにより、観光客は木津川の文化や歴史をより深く理解し、地域経済の活性化にもつながる。

木津川まるごと古民家ホテル（詳細）

- 木津川各地にある空き家を古民家ホテルに改修する
- 体験型のオプション(茶摘み体験など)や、神社仏閣の観光を行うことで木津川の良さを知ってもらえる
- 非日常体験や都会の喧騒を忘れるために田舎には一定の需要がある
- 1棟を丸ごと貸したり、ゲストハウスという様々な形態の宿泊施設を用意することで多くの需要を受け入れる

メリット

- 古民家ホテルの運営だけではなく、地域経済に収益効果が見込める
- 改修することで建築物の劣化を防ぎ環境保全につながる
- 木津川の魅力を知ってもらうことで都心部から移住する人が増加する可能性がある
- 木津川にある神社仏閣の観光客が増える

デメリット

- 多額の費用が必要になる
 - 国の補助金を利用する
 - 地域住民によるメンテナンスの協力体制を築く
- 建築基準が厳しい
- 治安の悪化や、騒音問題
 - 地域住民と協力して観光マナーに関するガイドラインを作成する

事例

「自治体」の成功例

- 丹波篠山に位置する
- 古民家を再生し、ホテルとして営業
- 城下町に展開
- 積極的に村人が事業に参加

NIPPONIA 篠山城下町ホテル



テレワークオフィスとして利用

空き家リモートオフィス化概要

- 空き家を改装し、シェアオフィス、レンタルオフィスとして活用
- リモートワークの浸透により、賃貸料の高い都市部にオフィスを構える意味が見直されてきている
- 働き方の多様化を支援
- 地域の活性化と持続可能な働き方の両立
- 観光×仕事

メリット

- 地域活性化と経済効果
都市部から人を呼び込み、地域経済が活性化します
- 都市部の働き方改革とワークライフバランス向上
自然豊かな場所や静かな環境で働きストレス軽減や生産性が上がる
- 空き家の有効活用と維持管理の向上
使用され、メンテナンスが行われることで、地域の景観が保たれる

デメリット

- 通信環境の整備が必要

高速なインターネット環境がオフィスには欠かせないが地方には通信環境が整っていない場合もある。通信環境の改善については自治体だけではなく、通信企業の助けが必要な可能性がある

- 運営・維持管理コスト

空調設備や電気、水道の整備も必要となるため、初期投資や運営コストが高くなる。加えてセキュリティ対策も万全にする必要がある

事例

「公営既存施設」×「IT」

- 鹿児島県大島郡天城町
- 観光地やリゾート地で休暇を取りながらリモートワークする
- ワーケーションを推進することで地域活性化

ワーケーション施設



参考文献

- 土地カツnet(<https://www.tochikatsuyou.net/katsuyou-jirei/>)
- NIPPONIA 小菅 源流の村 (<https://nipponia-kosuge.jp/>)
- アカツキマガジン(https://aki-katsu.co.jp/magazine/archives/809#index_id0)
- RemoteLOCK(<https://remotelock.kke.co.jp/case/town-amagi/>)

3班
提案

- ① ティ・レモン シティ 構想
- ② 木津川バーチャル観光局

3班：富安 嶽 中川 竹本 花房 野間 前田 福田

課題：知名度がない

学生に対するアンケートの結果

木津川市を知っている割合 15/40人

木津川市に行ったことがある割合 4 /40人

木津川市の印象

「家から近くて利用する」「駅前にはユニークな店が多い」

「利便性の高い街」「田舎」「木津川がある」「京都の南」

「浄瑠璃寺がある」「地図で見る」「名前だけ知っている」

目標：知名度向上

01

木津川市の
イメージづくり



お茶×レモン
活用

02

市の認知拡大
観光の利便性向上を図る



SNS戦略
(LINE・Instagram開設)

① ティ・レモン シティ 構想

木津川市といえば〇〇というイメージがあまりないため
観光地の候補として挙がりにくいのではないか

「お茶」と「レモン」を活用して新しいイメージを作成する

「お茶とレモンが有名な市」＝「ティ・レモン シティ」として
木津川市を認知してもらい、観光客を増やすことを目的とする

なぜレモンなのか？

京都でレモンづくり | 日本果汁

「京都でレモンを栽培して商品を作りたい」。この計画は、木津川市役所への相談からスタートした。相談するとすぐに、南山城村の道の駅と久御山市役所に話が伝わった。企業の賛同もあり、大学や金融機関にも声が掛かった。有力な生産者からも協力を得られた。

生産者の試行錯誤と培った経験により、少しずつ木は育ち、花も付き、京檸檬の実を着実に増えていった。2022年には1,800kgの収穫となり、5年目を迎えた2023年には3,000kgを越える収穫となった。

「京檸檬」はお酒、お菓子、調味料となって市場へ並び始めた。京檸檬プロジェクト協議会が一つとなり、栽培から商品化まで一貫して行う事ができた。産地創成から商品の販売までを見て、他にない喜びが募った。

京寧檬の認知度

木津川 × 檸檬

01 日本果汁

株式会社あぐり翔之屋、エムツーエステイト株式会社、加茂自然農園、株式会社京都水尾農産、とらこ株式会社
株式会社棕本宮農、株式会社村田農園、株式会社むらむら、吉川農園、ロックファーム京都株式会社（五十音順）

02 京都八百一

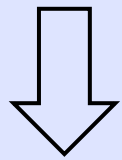
宝酒造や良品計画なども
京檸檬プロジェクトに関係している

木津川 × お茶

日本緑茶の歴史は、京都山城エリア「お茶の京都」から始まった。
京都府南部に位置する木津川市加茂町は、宇治茶の産地でもある。

< 福寿園 >

2025年3月にお茶をテーマとした
テーマパーク型新施設の開業



ティ・レモンシティの中心を
担えるのではないかな？

お茶の歴史や魅力を伝える新施設 来春開業 へ 木津川

11月26日 18時06分



木津川市に来年の春、お茶の歴史や魅力を伝える新しい施設がオープンすることになりました。

新しい施設「山城館」は、木津川市に本社がある宇治茶の老舗製造販売会社がお茶の歴史や魅力を発信しようと、本社工場の隣におよそ10億円をかけて整備しまし

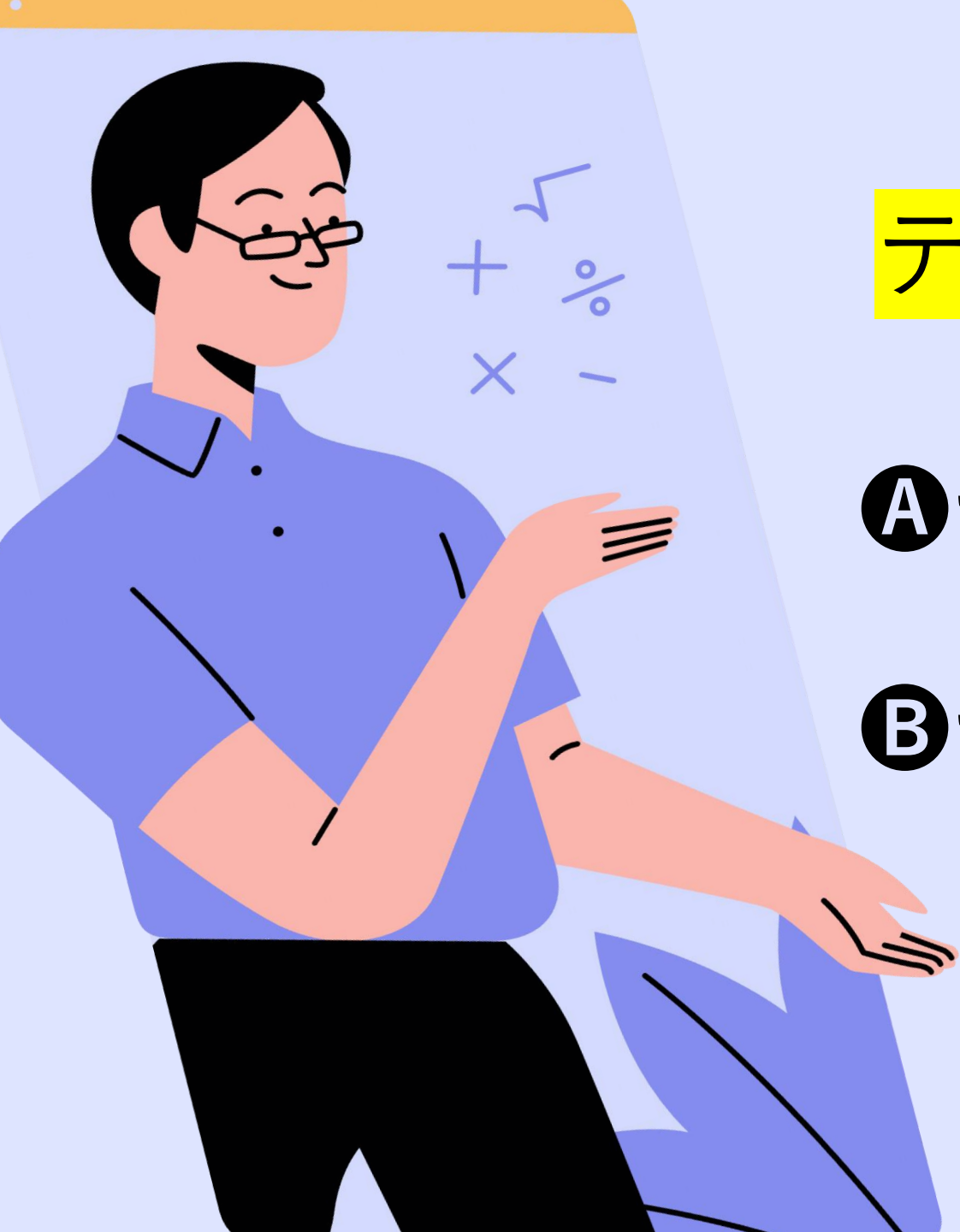
ティ・レモン シティ構想



木津川市内の飲食店にお茶とレモンを使用したメニューを作成してもらい、加盟店にする

加盟店の一覧・マップを作成し、お茶とレモン以外のメニューを含めてアピールする

市全体としてティ・レモンを推進していく



ティ・レモン シティ構想

Aティ・レモンフェスティバル

Bティ・レモン木津川アート

① ティ・レモンフェスティバル

目的：イベントによってティ・レモンの認知を拡大する

レモンとお茶やそれ以外でも屋台を出店をして
お祭りのように食事や買い物を楽しめる

- (1) 「お茶とレモンを愛したのは誰だ！？
ティ・レモン美食グランプリ！！」
- (2) 「シンボル・コンテスト」



(1) 「お茶とレモンを愛したのは誰だ！？ ティ・レモン美食グランプリ！！」

レモンとお茶を使用した創作料理(ドリンク・デザートなど)で
NO,1を決める大会

水出し冷茶 れもん緑茶 (福寿園)



[お水でお茶を - 水出し冷茶 れもん緑茶 - 福寿園 Japanese Tea Shop](https://www.atpress.ne.jp/news/266475)



<https://www.atpress.ne.jp/news/266475>

ティ・レモンシティ構想



広島県の瀬戸田
レモンを使用したイベントを開催

- ・せとだレモン重量当て選手権
- ・レモン早食い世界選手権
- ・レモンタワー世界選手権
- ・レモン担ぎタイムトライアル
世界選手権



しおまち商店街

(2) 「シンボル・コンテスト」

ティ・レモン シティ 木津川をPRするにあたり
マークとマスコットキャラクターをシンボルとして公募する！

<流れ>

1. 全国からシンボルを公募
2. 優れたアイデアをピックアップ
3. 第1回ティ・レモンフェスティバルにて投票
最優秀案を決定しシンボルとする



② ティ・レモン木津川アート

目的：

- ① シンボルだけでなくアートを活用することで視覚的に
ティ・レモン シティを実現する
- ② 京檸檬・お茶の認知拡大

木津川アートの題材としてティ・レモンを扱う



木津川アート

木津川アートとは

アートによる町づくりを通して合併した旧3町のつながりを深め、見慣れた景色をアート作家の展示会場とすることで地域の魅力を再発見しようというもの

京檸檬を知らない人が95%

→魅力再発見の対象にし、木津川市の特産品である茶・筍・柿を超える物へ



木津川アート 過去展示

木津川アート2010

「流れ その先に」 木津・本町／鹿背山／上狛



 木津川アート2010
作品&ドキュメント

木津川アート2018

「恋する恭仁京。」 瓶原地域



 木津川アート2018
作品&ドキュメント

ティ・レモン木津川アート 事例



広島県尾道市瀬戸田町



レモン自体を使用したアート

Fête du citron® - Un événement unique au monde !

ティ・レモン木津川アート 事例



佐賀県 嬉野市



鹿児島県南九州市知覧町郡



②木津川バーチャル観光局



レモンを木津川市のブランドとしてSNSで発信する！

多くの人が利用するアプリである
LINEやInstagramを活用して、
幅広い世代のブランド認知向上を目指す。
また、SNSではレモンやお茶という
ブランド以外の観光情報も発信し、
より多くの人に観光に来てもらいたい。

②木津川バーチャル観光局

【現状】

Facebook (ええやん きづがわ)

→ イベント情報や市政情報など発信。

フォロワー1600人。若者向けのアプリではない。

YouTube (KizugawaCity)

→ 記録用と思われる動画が多く、観光向けではない。

閲覧数が少ない。（視聴回数は500回以下のものがほとんど）

LINE

→ 公式アカウントはあるが、発信内容は市民向け。

Instagram

→ 市公式のアカウントがない。

②木津川バーチャル観光局

【提案】 SNS総合アカウントを開設

→Instagram と LINE (+感情マップ)

LINE:

観光情報を集約し、
カテゴリ別に情報
を提供

感情マップ:

観光スポットの評
価を絵文字を用い
て、地図上で可視
化する

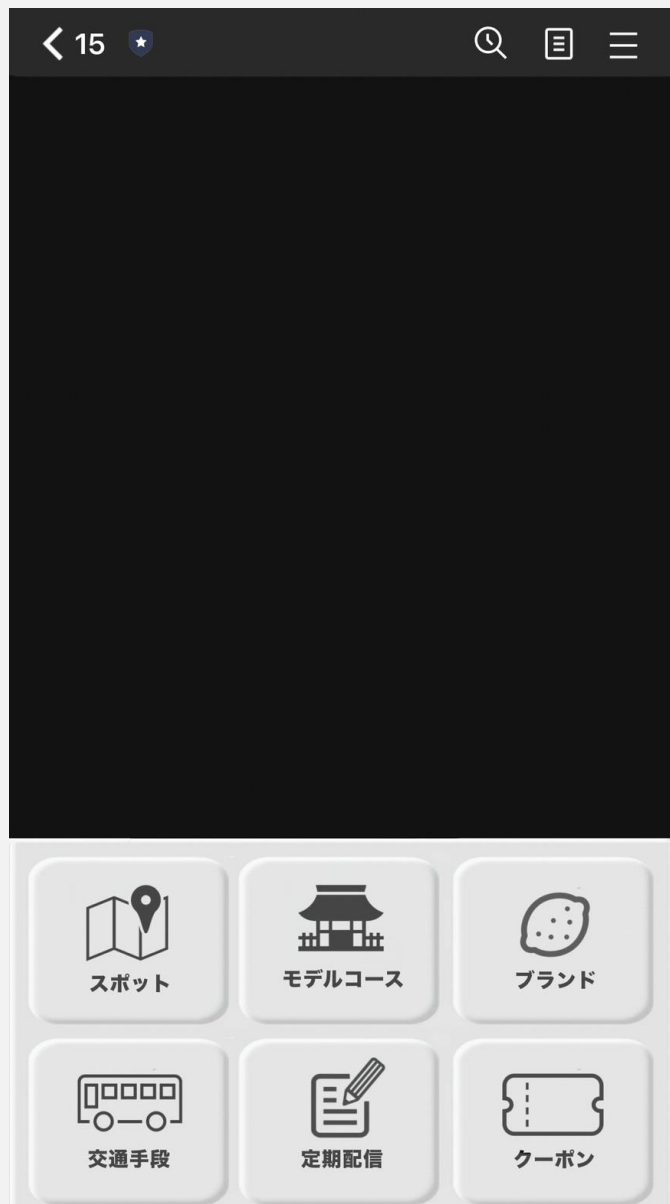
Instagram :

幅広い世代に観光
情報を伝える

②

公式LINE「木津川観光局」の新規開設

【イメージ】



②

公式LINE「木津川観光局」

木津川ブランド

- ・ レモン
 - ・ お茶
- ブランドの紹介や
販売ページなど設定

木津川スポット

- ・ 歴史・文化
→ 社寺仏閣など
- ・ イベント
- ・ グルメ

観光モデルコース

- ・ 歴史遺産探索コース
- ・ パンめぐりコース

交通手段の提案

位置情報機能で
現在地からスポット
までの行き方を提案

特集の定期配信

- ・ 紅葉スポット
- ・ お茶特集
- ・ レモン特集

クーポンの配信

地域の飲食店などで
利用可能
→ アンケートでも
「クーポンがほしい」

②

LINE活用型観光案内の事例



参考

○秋田市・男鹿市・潟上市
「あきた観光パスポート」

- ・観光案内
- ・テーマで観光
→温泉やお祭りなど
- ・クーポン
- ・特産品ネットショップ
などのサービスを利用できる

出典:秋田市

<https://www.city.akita.lg.jp/kanko/1015784/1039440.html>(最終閲覧日2024年12月5日)

②

観光案内+α 「感情マップ」

スポット（観光地、カフェ、景色）の
レビューを地図上で可視化するアプリ

観光スポットの評価を
絵文字を用いて感情で示す
マップ上でリアルに反映・共有



提案理由：木津川市は自然や歴史的な魅力を持つ地域だが、
それらを十分に活かした観光案内の仕組みが整備されていない

1

**魅力が伝わらない
情報発信**

観光地の情報発信が
十分でなく、訪問者が
「何を楽しめるか」を
イメージしづらい

2

**共有されない
リアルな声**

観光客や住民の
リアルな声や感想が
共有されにくい環境

3

**デジタルツールの
活用不足**

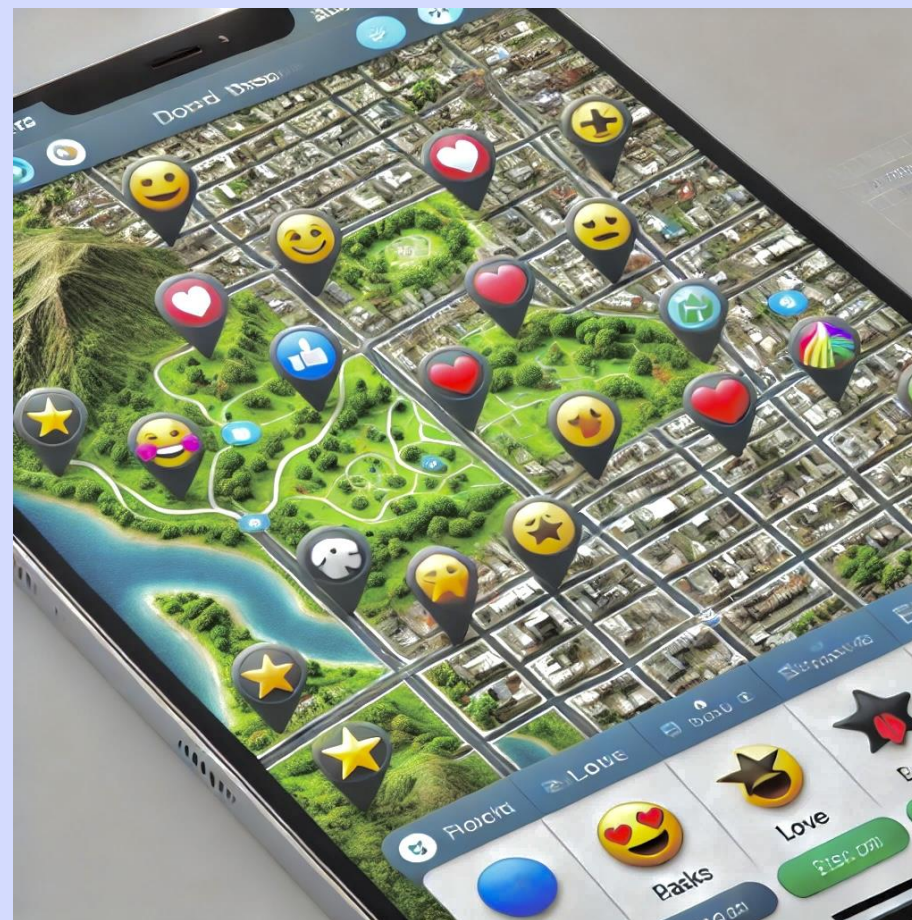
若年層や訪日外国人に
アピールするための
デジタルツールが
不足している



観光スポットを感情マップで可視化し、
「観光体験の共有と情報発信」のためのプラットフォームを提供

主な特徴と機能

- **感情の可視化**
お気に入りの場所などをマップ上で投稿
- **地域の課題共有**
まちのインフラや安全に関する課題を共有
- **安全性向上**
自治体や企業が改善策の立案、実行に役立てる
- **観光活用**
共有したスポットを参考に、観光ルートを決めることが可能



② 事例：株式会社NTTデータ

まちに関する住民の情報発信や行動を、**地域活性アプリ**を用いて実証実験
地域課題の「見える化」を行うことで、自治体が効率的に**地域のニーズを把握**し、
政策や施策の実行に役立てることを目的として運用



「まちトピ」は、お気に入りの店、
過ごしやすい場所、好きな景色など、
まちの住民、まちのファンだからこそ知っている、
まちの様々な魅力や秘密を紹介しようアプリです。

魅力や秘密だけでなく、
ネットで検索しても分からない“まちの隠”や、
まちで出会ったちょっとした“嬉しかったこと”
など、みんなで気軽に投稿しましょう。



アプリを起動するとあなたが現在いる場所がマップ
として表示されます。

使い方 | 投稿、コメント



マップ上の○アイコンをタップすると
みんなの投稿を見ることができます。
共感を気軽に伝えたかったら「そうだね!」をタップ。
コメントしたかったら入力して▶ボタンをタップ。
まちトピを使ってみんなでまちを盛り上げましょう。

②市の認知拡大

Instagramアカウント

【木津川観光のすゝめ】開設

印象・・・観光客の年齢層は高め

→知られていない

観光客を増やすには・・・

幅広い年齢層への認知拡大が鍵🔑



Instagramアカウントを開設

投稿、リールによる おすすめスポットの紹介

- 食、自然、寺社仏閣といったジャンルごとのおすすめスポット
- ドライブ、ツーリング、サイクリングなど移動手段ごとのおすすめスポット
- より詳細に魅力を伝えるためリール動画の作成

行ってみたい！と思わせるような
写真、文面、情報を伝わりやすく！



▲
@babareo_yomekoさんの
四国【秋の絶景スポット7選】
の投稿1枚目画像

@japan_travel_naviさんの
【10月に行きたい絶景ドライブ
スポット】の投稿1枚目画像
▼



観光分野 まとめ

1

ティ・レモン シティ 木津川

▶ デザート・ドリンク、アートの題材

2

SNS戦略「木津川バーチャル観光局」

・ **公式LINE**

▶▶ 観光案内に特化した機能、「感情マップ」

・ **Instagramアカウント**

▶▶▶ 「木津川観光のすゝめ」

参考文献

- ・ 朝日新聞 網走市事例

<http://www.asahi.com/area/hokkaido/articles/MTW20180731010200001.html>

- ・ ANA 広島県生口島でレモンとアートを巡る旅

<https://www.ana.co.jp/travelandlife/article/002119/>

- ・ 毎日新聞「インスタ映え「ジャンボ急須」お色直し 長崎・佐世保市」

<https://mainichi.jp/articles/20190611/k00/00m/040/051000c>

- ・ 食ZENラボ「レモン緑茶の作り方・レシピ＊手軽にダイエット！普段の飲み物を置き換えよう」

<https://shokuzenlab.com/recipe/condition-diet-lemon-green-tea/>

- ・ かごしまオールトヨタフォトドライブプロジェクト「急須と湯飲みのモニュメント」

<https://www.photodrive.jp/award/735>

- ・ [https://www.instagram.com/michiabacab/p/C8UEOLMJEqa/?img_index](https://www.instagram.com/michiabacab/p/C8UEOLMJEqa/?img_index=1)

≡1

- ・ 泊まれる学校 さる小

<https://www.sarusho.com/>

(最終閲覧日2024年9月24日)

- ・ ふるさと元気村

<https://furusatogenkimura.org>

(最終閲覧日2024年10月1日)

- ・ 秋田市

<https://www.city.akita.lg.jp/kanko/1015784/1039440.html>

(最終閲覧日2024年10月5日)

<https://www.eonet.ne.jp/~fumien/#:~:text=%E6%AD%B4%E5%8F%B2,%E3%81%AB%E5%8B%A4%E3%81%97%E3%82%93%E3%81%A7%E3%81%84%E3%81%BE%E3%81%99%E3%80%82>

(最終閲覧日 1 1 月 3 0 日)

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/kyoto/20241126/2010021409.html>

(最終閲覧日 1 1 月 3 0 日)

- ・ かわいいフリー素材集 いらすとや

<https://www.irasutoya.com/>(最終閲覧日2024年12月18日)

- ・ kizugawa-art.co 「アーカイブ一覧 KizugawaArtMagaine」

<https://kizugawa-art.com/archiveall> (最終閲覧日2025年12月3日)

街を盛り上げる
ために!

4 班の提案

観光政策の提案

～ツール・ド木津川／木津川ネイチャーパーク～



メンバー：山風呂 渡邊 藤田 吉田 松岡 宮野 矢田 横山

私たちの提案

01

ツール・ド木津川 + パンイベント

市内の魅力に多く触れてもらうため
観光スポットを広く巡る

ツーリングイベントを開催

木津川市らしさが溢れる

パンのイベントを開催

02

木津川ネイチャーパーク

キャンプや**カヌー**などの
アクティビティを楽しめる
レジャー施設の設立

ドライブインシアターを併設

政策立案 1

キャンプとカヌーができる レジャー施設の整備

【バイクで来る人に人気のキャンプ場】

- ・オートキャンプ場
- ・ツーリングコースから遠くない
- ・サイトまでの道が整備されている（悪路はバイクだと走りにくい）
- ・貸出アイテムが豊富にある（バイクは多くの荷物が積めないため）

市内にある山城町森林公園は山間部

→木津川の川辺に整備

川でのアクティビティ（カヌーなど）
が出来るようにする



笠置キャンプ場

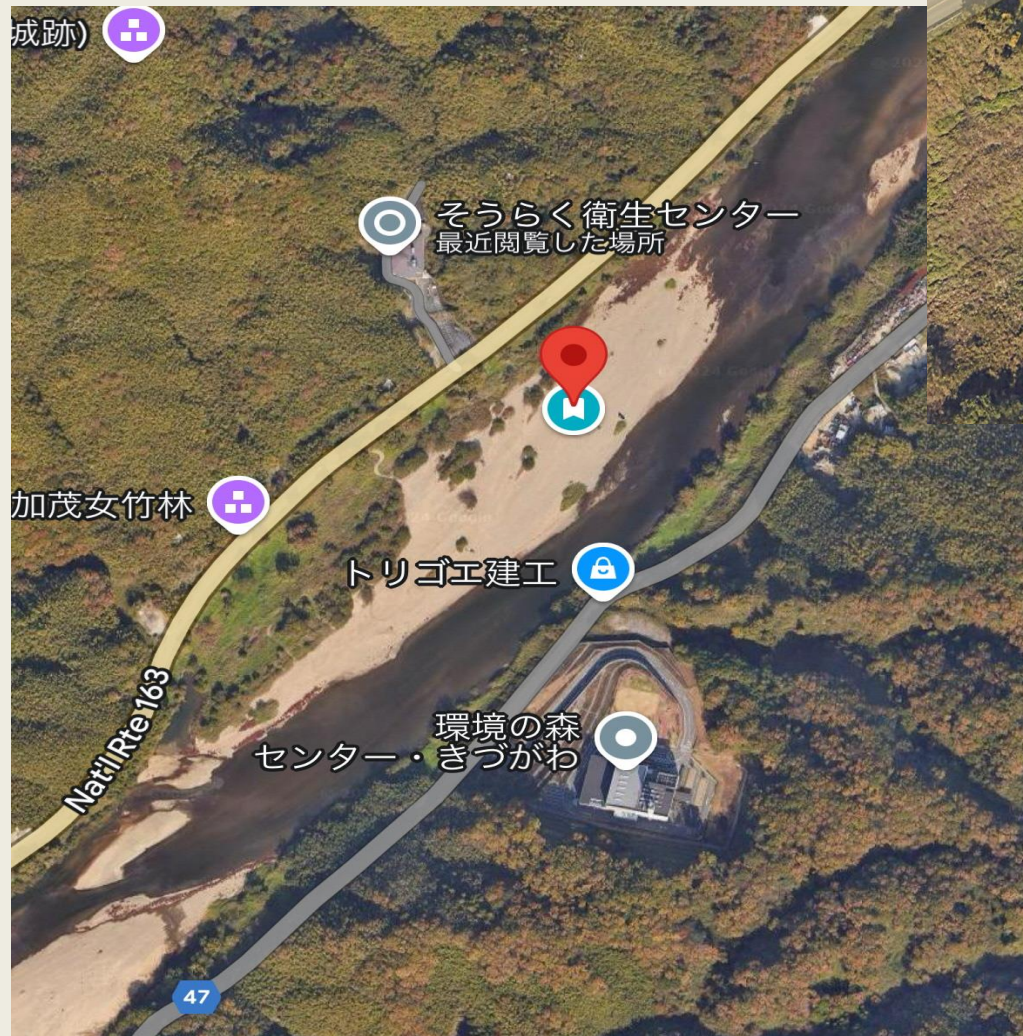
全国屈指の木津川の下流に広がり、河川敷まで車で入ることができる。

シーズン中の週末には多くのキャンパーで賑わう人気のキャンプ場。

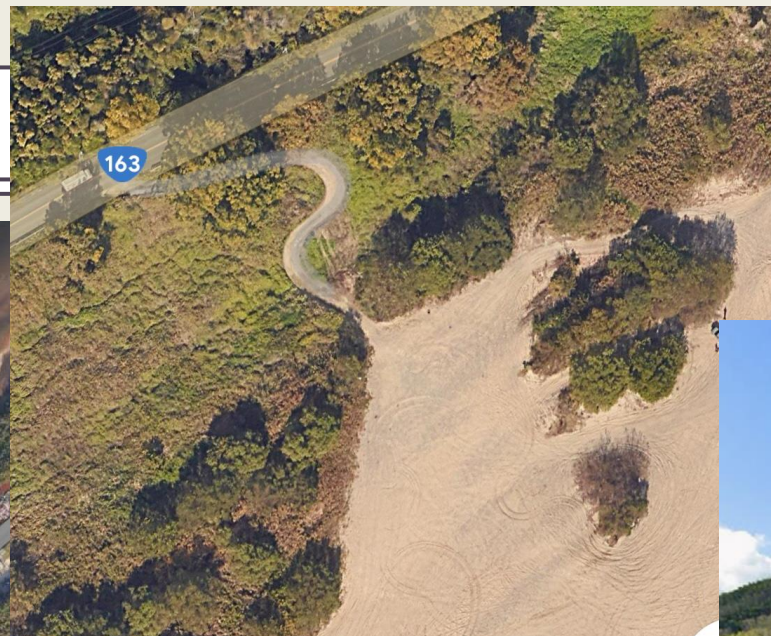
→非日常体験を味わうことができる



キャンプ場 場所提案



📍 木津川市山城町上狛大谷付近



トリゴエ建工
京都府木津川市・29 km
建材店

成功事例の紹介

R DRIVE IN THEATER BIWAKO ～アール・ドライブインシアター・ビワコ～

焚き火をしてchillを感じながら車から映画を見て楽しむ

木津川市にきてもらう機会を増やす

移動販売などで飲食の販売もしながら、地域の人主体で経営をすると木津川市で経済を回す。



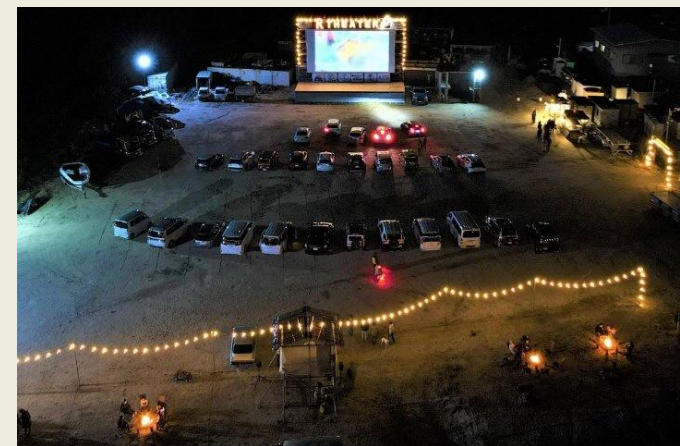
成功事例の紹介

学校の再利用

焚き火をしてchillを感じながら車から映画を見て楽しむ

木津川市にきてもらう機会を増やす

移動販売などで飲食の販売もしながら、地域の人主体で経営をすると木津川市で経済を回す。



キャンプ場新設の流れ

①土地も確保と調査

地元の自治体・土地所有者に確認
土地状態の確認

②法的手続き

建設許可・火気使用許可の確認
消防・衛生規制の確認

③施設設計

トイレ・電源・水道の設備
道具のレンタル

④環境設備

ゴミの分別などの自然環境保護

⑤安全対策

消化設備の設置・スタッフ教育(緊急事の)

⑥マーケティングと運用

予約システムやSNS

⑦費用と資金調達



参考予算

小規模キャンプ場（テントサイトのみ）

- ・ 土地購入・整備：1000万円～3000万円
- ・ 基本施設（トイレ）：数十万円～100万円
- ・ 初期運営費（スタッフ・管理費等）：200万円～500万円
- ・ スクリーン：10万～100万 サイズによって異なる
- ・ 音響設備：30万～100万
- ・ 映像機器：30万～500万
- ・ 電力供給：100万～200万

提案 2

ツール・ド木津川



ツール・ド木津川

木津川市の現状

- ・ 木津川市には魅力的な観光スポットが点在している
- ・ **歴史**を感じられるところ、**地域の人**に愛されるところ、**新たな魅力**が溢れるところ、、、
多くの人に受け入れられやすそう

ツール・ド木津川

提案の思惑

木津川市には多様な魅力的な観光スポットが点在している。
それらのスポットに市外に住む人に多く訪れてもらい、
魅力に触れてほしい。
継続的に訪れてもらうことで、木津川市の虜になってほしい。



キャッチフレーズ：旅する度に虜になる。
自然と歴史で心を紡ぐ、木津川市。

ツール・ド木津川

目的：木津川市内各地に設置したデザインマンホールを自転車で廻り、
広く市内の魅力を発見してもらうこと

- 多くの人(年齢、性別)が気軽に参加できる
- 市内を広く周れる
- 魅力を肌で感じられる
- 整備が簡単である(駐車場など)

成功事例の紹介

にっぽん応援ツーリング ～ つながるバイク旅～

ツーリングライダーがもつ軽やかなフットワークや、機動力、旺盛な好奇心を活かして地域社会を盛り上げる思いを原点に、一般社団法人 日本ライダーズフォーラムが2020年より毎年開催しているイベント。



にっぽん応援ツーリング2024

～つながるバイク旅～

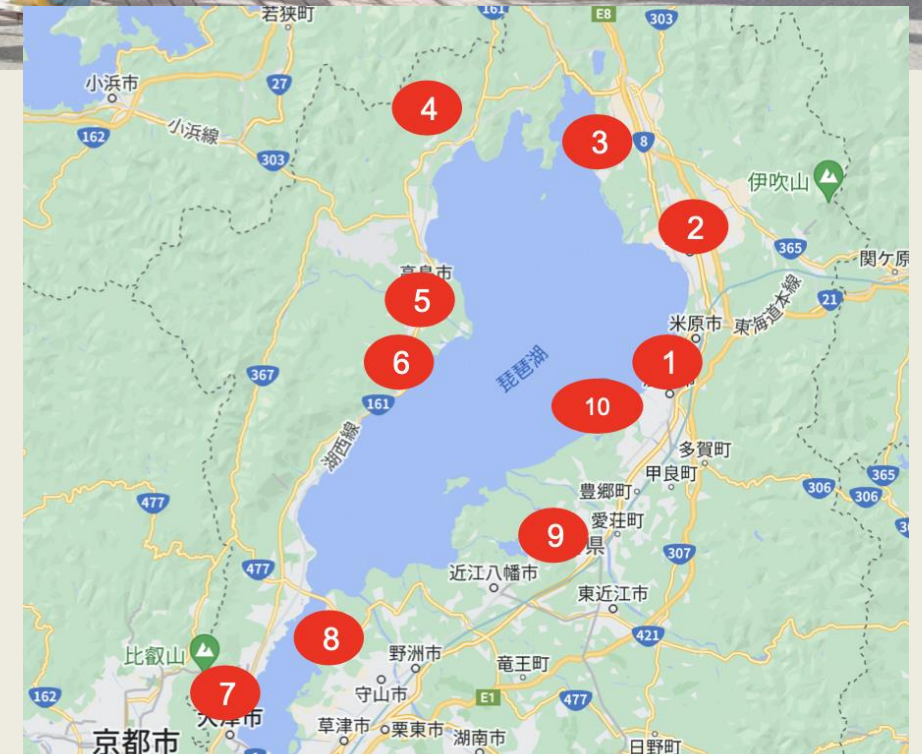
2024年4月27日(土)～10月31日(木)



成功事例の紹介

CENTRAL BIWAKO TOURING RALLY ～好きでつながる滋賀の旅～ 「びわっー」

彦根発、琵琶湖を1周するツー
リングイベント
10箇所をスポットとしている
2023年は4500人が参加



政策立案

ツーリングイベントの開催

【現状】

- ・ 国道163号線に向けたツーリングコースがある
- ・ 木津川市→笠置町
- ・ ドライブイン大扇に休憩スポットも！
- ・ YouTubeにもツーリングコースの紹介がある



チェックスポット候補地

チェックスポットは、

- 木津駅
- 恭仁京跡
- 岩船寺
- 城山台公園
- 浄瑠璃寺
- 岡田鴨神社
- 福寿園CHA遊学パーク

とすることを想定している。





ツール・ド木津川

目的：木津川市内各地に設置したデザインマンホールを自転車で廻り、
広く市内の魅力を発見してもらうこと

「マンホールビンゴスタンプラリー」

- ・ スポットを訪れた数に応じて木津川市内で利用できる商品券や賞品を渡す
- ・ マンホールに到達したことをGPSで認識し、各人のサイトに記録する
GPS認識のシステムがある

マンホールラリー

- ・専用サイトを作り「マンホールラリー」形式にする
 - マンホールを訪れるとGPSの認証ができる
 - その数に応じて賞品を獲得
 - 賞品を季節ごとに変えることで繰り返し訪れてもらう
- ・デザインのシートを貼ることにより、低コストで実現可能

事例の紹介

デザインマンホール デジタルラリー

- ・ 東京都が行うマンホールラリーイベント
- ・ GPS機能を活用し、専用サイトから参加できる
- ・ マンホールを訪れるとポイントを獲得でき、その数に応じて賞品が当たる抽選に応募できる



認証を紙媒体で行うか、デジタルとするか

紙を使った場合

- * メリット・・・コストが安い
インターネット端末が不要
モノが残る
- * デメリット・・・荷物になる



デジタルベースの場合

- * メリット・・・持ち運ぶ物が少ない
認証スポットの設置が簡単
- * デメリット・・・コストが高い

パンイベントを同時開催

月に一度、土日イベントを開催

- ・ イベント日は終着地点で市内のパン屋が集まり、特徴的なパンを販売するパンフェスを行う
- ・ その日は景品をパンにする
- ・ イベント開催場所は木津城址公園

政策立案

茶葉を活かしたパンフェス

【現状】

パンフェスが開催されている→各店舗でのスタンプラリー形式
12店舗が協力し、うち8店舗は限定のパンが商品にある
木津川アートの時期に2週間行われている

【改善案】

- ・ 木津川市産のお茶やレモンを使ったパン等の販売
- ・ 木津川の名産茶葉を活用した商品の販売



提案 2

名産品を活かしたパンフェス



【現状】

- ・パンフェスが開催されている→各店舗でのスタンプラリー形式
- ・12店舗が協力し、うち8店舗は限定のパンが商品にある
- ・木津川アートの時期に2週間行われている

【改善案】

- ・木津川市産の**お茶**や**レモン**を使ったパン等の販売

成功事例の紹介

京都パンフェスティバル in 上賀茂神社

全国屈指の「パンの街」京都ならではのパン文化を発信するとともに、京都が誇る世界文化遺産・上賀茂神社の歴史を感じながらより親しみを持って足を運んでもらう契機にと開催している京都最大級のパンイベント

令和初開催!

京都 パン フェスティバル in 上賀茂神社

令和元年 11月9日(土)・10日(日) 両日午前10時～午後3時

会場：世界文化遺産 上賀茂神社(賀茂別雷神社)

Kyoto Bread Festival in Kamigamo-shrine

世界文化遺産の上賀茂神社を舞台に、「パンの街」京都の有名ホテルや人気ベーカリーが集結する「京都パンフェスティバル in 上賀茂神社」! 平成27年の上賀茂神社式年遷宮奉祝事業として始まり、今年は「令和」の時代を迎えて初の開催となります。年に一度の、京都が誇る「神社」と京都の人々に愛される「パン」のコラボレーションをお楽しみください。

主催／京都パンフェスティバル実行委員会

協力／一般社団法人日本パン工業会、日本エー・アイ・シー株式会社

後援／京都府、京都市、公益社団法人京都府観光連盟、公益社団法人京都市観光協会、KBS京都、エフエム京都

【お問い合わせ】京都パンフェスティバル実行委員会事務局(京都新聞COM内) 電話 075-241-6172(平日10時～17時)

※入場無料。荒天中止。数量限定・売り切れ次第終了。出店者は予告なく変更となる場合があります。

アラジン グラファイト
グリル&トースター
トーストの美味しさを追求した
トースター。外カリ中モチ
のトーストであなたのパン生
活をさらに豊かにします。

●日本エー・アイ・シー株式会社
兵庫県加西市別所町395
☎0120-88-3090



会場で
実演販売も
あります!

私たちの提案

01

木津川ネイチャーパーク

キャンプ場でカヌーなどの
アクティビティが楽しめる
ドライブインシアターを開催する



02

ツール・ド木津川

市内の魅力に多く触れてもらうため、
観光スポットを広く巡る
ツーリングイベントを開催

